

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	公益財団法人 アジア成長研究所
-----	-----------------

所管課	企画調整局 国際政策課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、国際水準の知的基盤の強化と地域への知的貢献を目的とする活動を行う。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>本市がアジアの中核的な産業都市として持続的な成長を実現するため、今後、アジア諸国の先進事例研究などの活動を推進し、研究成果を積極的に公表し、広報活動を強化する。 また、客観的な成果指標を策定し、26年度から3年間、その成果を評価し、その結果によっては、大学等との統合又は廃止を検討する。</p>

ミッションに基づく中期計画

2年後に目指す状態	<p>1. 学術：RePEC (Research Papers in Economics) 格付けの日本国内研究機関上位10%以内を維持する。 2. 地域貢献：市や実業界から政策や戦略決定上、有益なシンクタンクとして認知される。</p>						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績 (太枠は最終目標年度)						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
著名な学術雑誌への論文掲載数	4本	5本	9本	5本	前年度実績の維持		
第三者による研究内容の評価 (RePEC国内上位10%内)	11位/171位	17位/171位以内	14位/185位	18位/185位			
市政・企業活動に貢献する調査研究件数	3件	3件	2件	3件			
成長戦略F参加者の満足度「良かった」の割合	88%	80%	96%	80%			

※RePEC=Research Papers in Economics (米国) 世界81カ国の40,000人を超える研究者が登録する経済研究論文データベースサイト (2014年11月現在の登録数=42,367人の研究者及び6,724の所属研究機関)。論文引用数を含む31項目の異なる基準により、登録者の研究内容を客観評価し、毎月ランキング (地域別、国別等) を発表している。

ミッションの遂行状況の評価 (平成28年度)

団体における評価	<p>国際的な学術誌への論文掲載、経済分野での国際評価で上位ランキング獲得などの研究成果は維持しつつ、地域や市政に貢献する活動として、民間企業経営者、金融機関トップによる講演会を実施し、好評を得た。また、日本を代表する著名な経済学者を招聘しての財政学会や、欧米・アジア8カ国から経済学の権威を招いての国際会議を開催するなど、平成28年度の目標を着実に達成した。</p>	市の評価	<p>外部資金を獲得しつつ高いレベルの研究活動を進め、国際的評価のランキングでも国際機関10%以内の14位に位置付けられ、成長戦略フォーラム参加者から高い評価を得るなど成果目標は概ね達成できている。 また、地域への貢献を意識した研究テーマの設定や会議の開催が実績に結びついており、評価できる。</p>
今後の課題及び見直し内容 (案)	<p>市政及び企業活動に貢献する調査研究を基本プロジェクトで実施するとともに、「成長戦略フォーラム」の講演内容や、賛助会員制度の見直しなど施行錯誤を進めながら、企業関係者等の参加を更に促進する。また、研究成果や研究活動の情報を随時、電子媒体で提供することなどで、外部参加希望者等に周知するなど広報活動の充実を図る。</p>	団体への改善指導内容 (案)	<p>引き続き成長戦略フォーラム等を通してアジア成長研究所の活動について積極的にPRするとともに、地域の政策課題や企業活動等に貢献する研究を通じて、地域に貢献できる研究機関としての存在価値をさらに高める取組みの検討を指導する。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に具体的な成果が求められ、成果が見られなければ統廃合を検討する団体
<p>平成26年度から客観的指標に基づく成果の評価を始め、「ミッションの遂行状況の評価」にも記載しているとおり着実に実績を上げている。平成29年度においては、評価対象の最終年度である28年度の単年度評価に加え、過去3年度の総括的評価を行い、アジア成長研究所の今後のあり方についての方針を検討する。</p>	